

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2000. 10. 4

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）福井（伊島小）

今回は、たったの3人でしたが、高松さんから面白い万華鏡とその材料の入手先を教えてもらい、福井としてはたいへん大きな収穫を得ました。またサイエンスフィールドのオープンの日取りも決まりました。

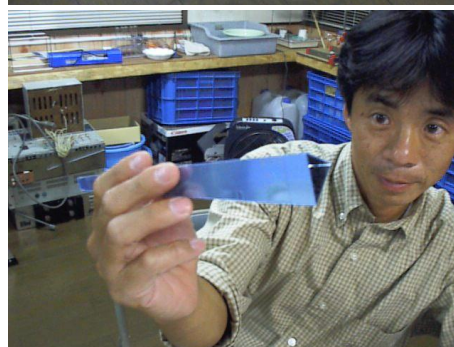
【段ボール展翅板】石浦

現在の石浦先生の活動の路線は、少人数の子供達が継続的に科学体験できるよう支援する方針のようです。これは科学の祭典がやるような大規模なイベントではなく、公民館などが行う科学教室のような単発の催しでもありません。独特の試みとして注目に値するものだと思います。さて、段ボール展翅板もこうした活動の中で作られたものです。もともとは実験材料の欠乏したフィリピンで石浦先生が考案されたものだそうです。必要は発明の母ですね。



【万華鏡】高松

高松先生が教育研究集会で見つけてきた万華鏡です。この万華鏡は側面が台形になっていて、太いほうからのぞきこむとまるでダイヤモンドのようにきれいです。万華鏡の側面は長方形であるという固定観念をもっていた福井にはたいへん新鮮な驚きでした。材料の鏡はガラスではなく、ミラー板というプラスチックで出来ていて、安全でいいと思いました。ミラー板の値段は60×90cmが2500円だそうです。

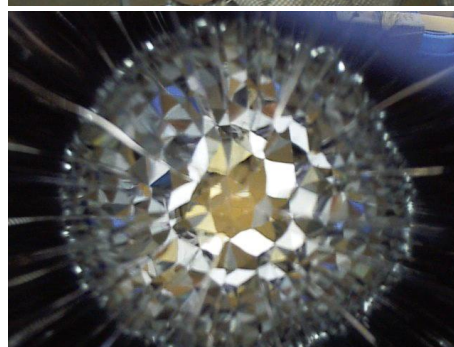


（株）メイバン岡山営業所 岡山市下石井2-2-5

TEL 086 (231) 3181

【ファープル・ミニ】福井

野外観察用の携帯型双眼実体顕微鏡を買いました。



【偏光版・回折格子】福井

前々回から話題になっている偏光版と回折格子の仕組みをレーザーポインターを使って説明しました。偏光版は光が波であることの証明に使います。

【ハブ】福井

沖縄（石垣島）に「ハブグワ」という民芸品があります。これはアダンという植物の葉を使ってへびの形に編み上げたもので、へびの口に指を入れるとへび全体がしまって指が抜けなくなります。あわてて引っ張れば引っ張るほど抜けません。「星ころ」という本にその作り方が載っていますが、梱包用の平紐で作る方法が全国的に広まっています。福井は以前、両方が口になったハブが銀座のキンタロウというおもちゃ屋さんで売られているという話を聞いて買いにいったことがありますが、キンタロウはつぶれていて、そのままになっていました。ところが先日、広島東急ハンズに行く機会があり、偶然に手品用品売り場でみつけました。「体の柔らかさを調べてあげる」とか言って、背中後ろ手にハブをつけるとくすぐり放題です。